

平田町長(右端)に「宝」選定を報告した永井代表理事(左端)と女性たち



## 鱒ヶ沢・白神自然学校一ツ森校

# 「農山漁村の宝」に選定

### 廃校の建物活用 レストランなど評価

東北農政局

廃校となった小学校の建物を活用し「農家レストラン」の運営などを手掛けてきたNPO法人の白神自然学校一ツ森校(鱒ヶ沢町)が、東北農政局の「ディスプレイ農山漁村の宝」選定証を受けた。同校の永井雄人代表理事と運営に協力している地元女性5人が28日、同町役場を訪れ、選定を報告した。

(下山高秋)

東北農政局は農山漁村(むら)活性化に取り組み団体を「宝」として選定。今年度は東北地方14団体が対象となり、うち3団体が同校など津軽地方から選ばれた。

一ツ森校は2003年7月に発足。07年以降は同町一ツ森地区で廃校になった小学校校舎を拠点に、農家レストランの展開や農家民泊、首都圏の子どもたちの自然体験などを

目。その原動力は地域一民泊などの活動が評価された」と説明した。神さんは「みんなで和気あいあいと頑張った結果。選定を受けたので、ますます頑張りたい」と抱負を語った。

平田町長は「長い間の活動が認められ、大したものだと思う」と激励した。